大中小　文字サイズ

**男子ゴルフ「ISPSハンダグローバルカップ」朱鷺の台CCにて開催**

男子ゴルフ「ＩＳＰＳハンダグローバルカップ」（23～26日、石川県・朱鷺（とき）の台カントリークラブ）を主催する国際スポーツ振興協会（ＩＳＰＳ）はこのほど、都内で記者会見を行い、出場選手など詳細を発表した。

　2011年マスターズ優勝のシャール・シュワーツェルが2年連続で出場

　今回が２回目となる同大会は、２０１１年マスターズ優勝のシャール・シュワーツェル（南アフリカ）が２年連続で出場。その他にも、世界ランク44位エミリアーノ・グリッロ（アルゼンチン）、同68位のビクター・デュビッソン（フランス）らも参戦。まさに「グローバルカップ」という名にふさわしい華やかな大会となる。

　今年は「ゴルフによる地域興し」もテーマに

　ＩＳＰＳの半田晴久会長は「昨年は日本のゴルフのグローバル化とスポーツの社会貢献をテーマに開催しましたが、今年は新たにゴルフによる地域興しもテーマに加えました」と、石川県・朱鷺（とき）の台ＣＣで行う趣旨を説明した。

　朱鷺（とき）の台ＣＣは１９７６年から97年までの22年間、ミズノオープンが開催された日本有数の難コース。石川県での男子ツアーの開催は12年ぶりとなる。半田会長は「とてもすばらしいコース。これからも日本各地でグローバルカップを行い、地域振興に貢献したい」と意気込んだ。

　この日は谷原秀人、藤本佳則らＩＳＰＳ専属契約プロも会見に出席。谷原は「昨年は（この大会で）予選落ちしてしまったが、今年はいい感じできているので、ＩＳＰＳの大会で開花して優勝したい。全米オープン出場後なので、疲れているかもしれないが、今年は挽回したい」、藤本も「最近、調子が良くないですが、去年はトップ10ぐらいでフィニッシュできたので、最低でも予選は通りたい。この試合で何かのきっかけをつかんで、頑張っていけたら。谷原さんと一緒に大会を盛り上げたい」と健闘を誓った。

　加えて、会見では急きょ、ＩＳＰＳハンダがＰＧＡツアー・オブ・オーストラレイジアの冠パートナーとなることも発表された。同ツアーを統括するブライアン・ソーバーンＣＥＯは半田会長と調印式を行い、「今回、支援をいただけることになり、ツアーと選手にとって画期的な朗報です」と喜びを語っていた。